

○前回監視円卓会議での課題に対する報告等について

- Q 委員 作業従事者の業務年数及び教育訓練について、経験年数と事故の関係は見られないとの結論であるが、事故を起こす上で教育のほか、運転会社とJESCOの関係も要素となる。運営会社は指揮命令系統が構築されてJESCOと連携しているのか、作業員を派遣するだけなのか具体的に説明願う。
- A JESCO 運転会社はJESCOとの契約委託のもと、完全に一つの会社として指揮命令系統のもと作業が行われている。

○JESCO北海道事業所長期計画について

- Q 委員 仕分けを実施したのは増設施設で処理した全体量の1/4程度であるが、仕分け可能なものの割合はどの程度と見込んでいるか。
- A JESCO 事業所で仕分けられるものは全て実施するのが基本的な方向性だが、ドラム缶内で漏洩しているものは作業環境の観点から対象にならないと考えている。

○北海道によるPCB廃棄物の把握調査等について

- Q 委員 PCBの有無が判別できない安定器はどう取り扱うのか。捨てられる可能性があり心配である。
- A 北海道 安定器の把握は、パンフレットでの周知にも限りがある。判別については製造者とも連携して個別に詳しい対応ができる窓口が必要と考えている。
- Q 委員 PCBの含有が不明のものはJESCOに委託すれば良いのか。
- A 北海道 安定器は絶縁油を採取して調査することはできないため、施設設置年度等の周辺情報から絞り込んだ上で、最終的にわからないものは含有のおそれがあるものとしてJESCOに委託することとなる。
- O 委員 一般の人ではなかなかわからない。SNS等での水平展開が必要。今の時代に合わせたPRの仕方を考えてもらいたい。



ご存知ですか？高濃度 PCB 廃棄物は以下の期限までに処理を委託することが必要です！

変圧器・コンデンサー **2022年3月末日まで（あと3年）**
 安定器及び汚染物等 **2023年3月末日まで（あと4年）**

PCB 廃棄物処理事業に関するお問い合わせ

 <p>中間貯蔵・環境安全事業株式会社 北海道PCB処理事業所 〒050-0087 室蘭市仲町14番7 電話：0143-22-3111（代表） FAX：0143-22-3001 HP：http://www.jesconet.co.jp/facility/hokkaido/index.html</p>	<p>PCB処理情報センター 〒050-0001 室蘭市御崎町1丁目9番地8 電話：0143-23-7015 開館日：月～金 9:00～16:30（土日祝・年末年始休館）</p>
--	---

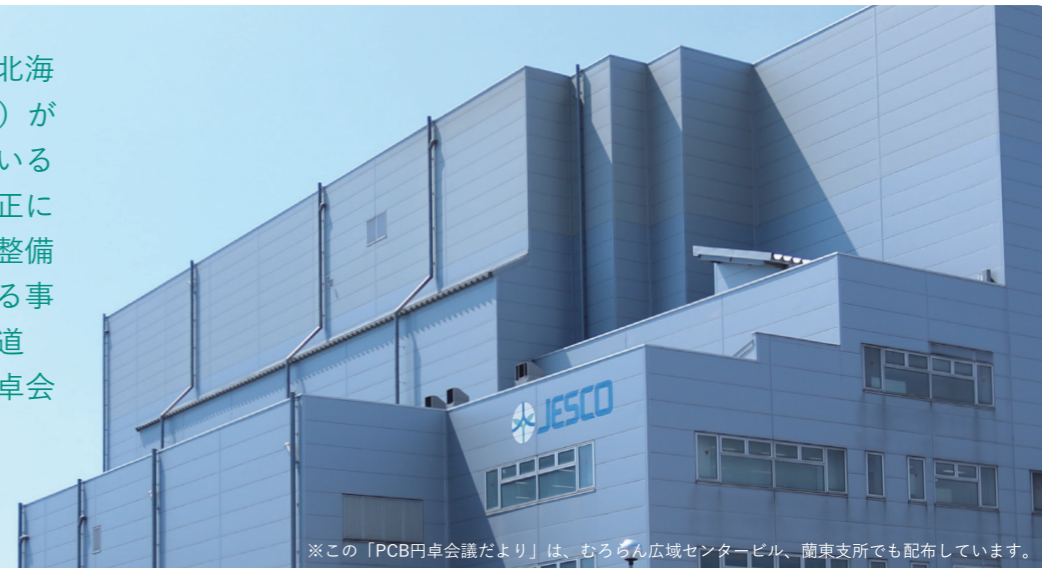
北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問い合わせ

 <p>北海道 環境生活部 環境局 循環型社会推進課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 E-mail：kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp 電話：011-231-4111（内線24-325） FAX：011-232-4970 HP：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/top_page/pcb.html</p>	 <p>室蘭市 生活環境部 環境課 〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目75番地7 E-mail：kankyou@city.muroran.lg.jp 電話：0143-22-1481 FAX：0143-22-7148 HP：http://www.city.muroran.lg.jp/main/org3300/pcb_top.html</p>
--	--

PCB円卓会議だより

北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議だより

北海道及び室蘭市では、北海道PCB処理事業所（JESCO）が室蘭市仲町で操業を行っている事業が、安全、確実かつ適正に行われるよう、処理施設の整備や操業、情報公開等に関する事項を監視するため、「北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議」を設置しています。



※この「PCB円卓会議だより」は、むろらん広域センタービル、蘭東支所でも配布しています。

第46回 北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議を開催

平成31年3月13日、PCB処理情報センターにおいて、第46回監視円卓会議を開催しました。会議には、学識経験者、団体委員、公募委員の計10名の委員のほか、オブザーバーとして、環境省、近隣自治体、JESCOなど関係者が出席し、処理の進捗状況やトラブル事象などの説明を行い、これらに関する質疑や意見交換が行われました。



● 会議の概要

- 1 第45回監視円卓会議議事録について
 平成30年11月19日に開催された第45回監視円卓会議の議事録が承認されました。
- 2 北海道 PCB 廃棄物処理事業の進捗情報等について
 JESCOから北海道事業の進捗状況やトラブル事象についての報告がありました。また、事務局から環境モニタリング測定結果及び立入検査についての報告がありました。
- 3 前回監視円卓会議での課題に対する報告等について
 JESCOから作業従事者の業務年数及び教育訓練・災害時の危機管理対応・活性炭交換時期決定に係る検討についての報告がありました。また、通報連絡及び公表基準の見直しについても報告がありました。
- 4 JESCO北海道事業所長期計画について
 JESCOから長期保全・処理計画とプラズマ熔融分解炉への負荷軽減についての説明がありました。
- 5 内部技術評価について
 JESCOから内部技術評価の結果報告と、その所見についての報告がありました。
- 6 道によるPCB 廃棄物の把握調査等について
 北海道からH29年度以降に実施したPCB廃棄物の把握調査等の進捗について説明がありました。
- 7 その他
 委員から環境に対する予算の意見と、事務局から委員の任期満了及び次期委員の選任について説明がありました。

処理の進捗状況について

平成31年1月末までの処理実績は、次のとおりです。

 当初施設 (脱塩素化分解処理)	変圧器類		コンデンサー類	
	登録数	処理台数	登録数	処理台数
	4,166台	3,809台(91.4%)	63,054台	58,386台(92.6%)

注)登録数:平成31年1月末現在。 処理台数:試運転物を含む中間処理完了時点。

 増設施設 (プラズマ溶融分解処理)	登録重量	処理状況			
		安定器	小型電気機器	感圧複写紙等	処理量計
	10,074,875kg	4,271,086kg	100,022kg	243,452kg	4,614,560kg(45.8%)

注)登録重量:平成31年1月末現在。 処理量:試運転期間(平成25年6月～8月)からの中間処理完了時点。
感圧複写紙等には、汚泥、その他PCB汚染物を含む。

トラブル事象について

前回の監視円卓会議以降、トラブル事象が1件発生。環境への影響はありませんでしたが、通報連絡及び公表基準「区分Ⅳ」に該当する事象でした。また、不具合事象15件及び不具合事象未済11件について報告がありました。不具合事象、不具合事象未済の詳細は、PCB処理情報センターで公開しています。

■トラブル事象の概要等

【当初施設】第2TCB除去塔塔底ポンプ吸込みバルブ開放操作中に指を切創(区分Ⅳ)

平成31年1月8日
16時52分頃発生

場 所 当初施設 蒸留エリア1階 第2TCB除去塔塔底ポンプ周り 管理区域レベル1

概 要 設備の点検補修により停止していた第2TCB除去塔の立上げのため、運転会社の作業員が閉止していた塔底ポンプの吸込みバルブを、両手でハンドル廻しを用いて開放していた際にハンドル廻しがバルブから外れ、その反動で右手の薬指が近くの別のバルブのスピンドルに接触し1.5cm程度切創したものの。被災した作業員は、経験年数6年であった。なお、当該作業員へのPCB等の接触はなく、操業への影響もなかった。

原 因 ・綿手袋、インナー手袋のみでは手の保護が不十分だった。
・バルブにかけたハンドル廻しの掛かりが甘かった可能性がある。
・ハンドル廻しが外れる方向に危険な突起物(バルブのスピンドル)があった。

対策等 ①綿手袋、インナー手袋の上に皮手袋を装着して操作する。
②ハンドルに対し、水平にハンドル廻しを掛ける。
③ハンドル廻しが外れた場合に突起物に当たらない立ち位置で操作する。ただし、どこに立っても突起物に当たる可能性がある場合には、緩衝材等で保護する。

環境モニタリング測定結果について

北海道、室蘭市及びJESCOでは、処理施設からのPCB等の排出状況や周辺環境のモニタリングを実施しています。排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングでは全ての項目で目標値・基準値の超過はありませんでした。

前回監視円卓会議での課題に対する報告等について

前回会議において、複数の項目にわたって委員から意見・質問等がありました。それらに対する回答と説明がJESCOから行われました。(以下抜粋)

①作業従事者の業務年数及び教育訓練について

労働災害と業務年数を確認した結果、実務経験年数の浅い作業従事者が災害を起こしている傾向は特に見られませんでした。

運転会社においては新人教育のほか、習熟度評価で一定水準に達するまで単独作業を行わずに教育訓練を継続する等の措置が講じられており、安全確保のための教育が適切に実施されていると判断しています。

②災害時の危機管理対応について

北海道胆振東部地震での経験を踏まえて、次の改善を図っています。

災害時の優先電話の登録により災害時にも通信制限がかからず通話が可能となった。

衛星回線携帯電話の導入を決定し、携帯電話不通時における通話やデータ送受信を確保する。

ハイブリッド車の導入により、非常時の電源利用が可能となった。

③活性炭交換時期決定に係る検討

新品の活性炭に交換した吸着槽を利用して、活性炭交換時期の決定に係るデータ収集について説明、定期的な活性炭や排ガスの分析(PCB、溶剤濃度等)のほか、吸着槽内の風速を測定し、これらの比較検討・経時変化を把握する等の実施内容が示されました。

JESCO北海道事業所長期計画について

①北海道PCB処理事業所 長期保全計画について

計画の策定にあたっての基本的な考え方、管理、運用、点検項目のほか、更新・予備品購入等の主な実績と平成31年度の予定について説明がありました。

当初施設の長期保全計画については、ほぼ完了に近づいている状況。

計画については、日常運転や定期点検の結果等も踏まえて見直しを行っていく。

②プラズマ溶融分解炉への負荷軽減に向けた取組について

搬入された安定器からPCB不使用のものの選別や不使用部分を取り外す、仕分け作業の内容及び進捗について説明。仕分け重量に対し、約7%の仕分けを実施した。

仕分けの効率化に加えて、更なる処理促進策の調査を実施し、今後具体的な検討に着手する。

③北海道PCB処理事業所 長期処理計画について

来年度以降の各年度における処理見込量について説明するとともに、上記②で説明のあった策を講じながら適時、長期計画にも反映するとの説明がありました。

内部技術評価について

施設の健全性、運転や操業の確実性の確保及び維持・向上のため年1回実施しています。

- ①北海道PCB処理事業所では昨年12月に実施し、指摘事項はなく着実に操業が行われていることを確認。
- ②所見として、プラズマ溶融分解施設の能力向上を引き続き検討すること、処理手間物の効率的な処理に向けた方法の検討及び内部連携の2項目が付された。

道によるPCB廃棄物の把握調査等について

北海道からH29年度以降に実施したPCB廃棄物の把握調査等の進捗について説明がありました。

進捗率は大型機器では9割を超えているほか、安定器についても調査方法を工夫して65%を超えた状況。

北海道の事例は他県にも紹介し、情報交換をしながら北海道事業全体で進めていきたい。

調査で新たに把握されたものについては運搬の効率化に向けた体制整備を進めている。

その他

委員から環境に対する予算への意見のほか、事務局から委員の任期満了及び次期委員の選任の協力がありました。